

롯데신·ドンビン召喚間近...背任·裏金·脱税全方位捜査

ソジンセ有償増資追及続きイインウォン・ファンガクギョ今月の調査予定

入力 : 2016-08-18 18:18 | 修正 : 2016-08-18 19:17

ホスヨンケミカル社長令状審査脱税疑惑ソミギョンもすぐに召喚

ロッテグループ不正と関連し、シン・ドンビン（61）ロッテグループ会長を正面狙って裏金造成疑惑を提起した検察が捜査に戻って速度を出している。辛会長召喚も迫っているという見方が出ている。

신동빈 롯데그룹 회장 의혹 및 혐의



18日、検察によると、ソウル中央地検ロッテ捜査チーム（チーム長ジョージェビン・ソンヨンベ部長）は、辛会長の背任・裏金造成・脱税など3つの容疑を同時多発的に見ている。

検察は、グループの脳格政策本部のソジンセ（66）対外協力団長（社長）を15日参考人にプライベート召喚した。イインウォン（69）ポリシー本部長（副会長）とファンガクギョ（61）政策本部運営室長（社長）も今月中に召喚されるものと思われる。

検察は小社長がコリアセブン代表取締役を務めてた当時ロッテピエスネット有償増資に参加した経緯と辛会長の指示かどうかなどを集中的に追及したと伝えられた。辛会長が受けている背任の疑いの分岐点で、不良子会社不当支援に関する部分である。ロッテグループは、2010年から昨年までロッテピエスネットの損失補填のために、4回にわたって360億ウォン規模の有償増資を実施した。この過程で動員された韓国セブンとロッテドットコム、ロッテ情報通信などの系列会社が大きな損失を被った。検察は、このような過程に辛会長の指示や黙認があったと見ている。また、検察は、辛会長が政策本部を中心に、子会社を動員、高価で株式を買い入れたが安値で売るなどの手法で株式を確保するための背任を犯した疑惑も確認している。これと関連し、検察は最近、オーナー一家と主要系列会社元・現職職員数十人を背任容疑被疑者に、特定の、関連法人と一緒に大々的な金融取引の履歴の追跡からの資金の流れを察している。<ソウル新聞 8月11日 1・11面> 検察が拘束令状

を請求したホスヨン（65）ロッテケミカル社長は、新会長の秘密資金造成疑惑と接している。ロッテケミカルは石油化学原料を輸入し、日本のロッテ物産を入れられて一種の「通行料」を支払う方法で 200 億ウォン台の秘密資金を造成したという疑惑が提起された状態だ。ロッテ側は否定しているが、検察は、辛会長の脱税容疑も疑っている。検察関係者は「日本のロッテホールディングスは韓国と日本ロッテグループの支配権を有しており、家族間の株式贈与に該当して辛会長も無関係ではない」と述べた。

検察は、6000 億ウォン台の脱税疑惑の中心に立った辛格浩（94）総括会長の配偶者ソミギョン（56）氏を近いうちに召喚調査して小社長も再召喚する方針だ。

チェジスク記者 truth173@seoul.co.kr